

The Alumnae News of ノートルダム清心 同窓会会報 ND Seishin School 51

特集 シスター渡邊和子帰天される
新講堂および教室棟建築の今



法喜直美（8期）

ごあいさつ

同窓会会長 岩崎恵子

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今、置かれている場で美しく花開いていらつしやることでしょうか。それとも根を張る時期でしょうか。

己斐の丘は新緑にあふれ、新講堂など校舎の建築が着々と進んでいます。トラックが出入りするな

ど少し騒然としていますが、年内には完成予定と聞いています。新講堂建築に関しては、同窓会の皆様にご支援をお願いして参りましたが、平成二十九年一月末でひとまず締め切らせていただきました。寄付総額三千四百万余円となり、二千三百二十六人の方がご寄付くださいました。大勢の方々

学校の近況

名誉会長 今崎成志
学校長



学校の丘も若葉の薫が燃え立つ季節になってきています。同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。学校では、三月に六十二期生

のお一人ひとりの熱い思いが伝わってまいりました。本当にありがとうございます。最初の目標額は二千万円でしたが、更に綴帳を贈りたいと上乘せをお願いしましたところ、多くの方々にご賛同いただきました。二度、三度と重ねてご寄付くださる方も多く母校への愛の深さを改めて感じたことでした。感謝!!感謝!!感謝!!心からお礼申し上げます。

去る二月二十八日に、同窓会人会式があり、六十二期生百七十四人を迎えました。一人一人希望に胸をふくらませて巣立つていった新会員の明日が幸多かれと心からお祈りしております。

四月には可愛らしい六十八期生が入学し、五月の学園祭バザーの準備に余念がありません。今年も工事のため変則的な会場作

を送り、四月には希望に燃え、若さ溢れる六十八期生を迎え入れ、生徒、教職員ともに気持ちも新たに新年度を出発しています。

同窓会の皆様方に多大なご支援をいただきました新講堂等校舎建設工事も予定通り順調に進んでいます。現在、五階建ての建物の外観ができており、十二月には完成の予定です。舞台綴帳についても同窓会が全面的に引き受けてくださり、素晴らしい綴帳が披露されるのではないかと期待しております。同窓会の皆様

りになると思いますが、同窓会は昨年と同じく、バザー会場は大会議室、うどんなどはクビリーホール(旧短大・高校校舎)にて行います。バザーの利益は同窓会活動、広報等の事業費、在校生の部活動、奨学金などの貴重な財源となっております。今年は五月二十七日(土)、二十八日(日)です。皆様お誘い合わせて是非ご来校ください。

私共、ノートルダム清心学園のシンボルの存在でした、シスター・セント・ジョン渡辺和子理事長が、昨年末帰天されました。女子教育に心血を注がれ、亡くなる間際まで職を全うされ、修道女として過ごされた一生でした。同窓会では広島県の総会で二回、関東支部・関西支部で一回など、計五回ご講演くださいました。いつも

方が、学校を、後輩をいつまでも大切に思い、支え、励まして下さる気持ちに感謝し、応えられるように日々の教育活動に取り組む、社会から必要とされる生徒たちを育てていかねばならないと強く思っています。

現在、私たちの暮らす社会は先行きの見えにくい状況になっています。科学技術、情報機器の目覚ましい発達によって、生活は豊かで便利になっています。しかし、社会的に弱い立場にいる多くの人々の心は満たされていません。また、成長途上にある子供

お優しい笑顔で、時に茶目つ気たぶりの目を輝かせてお話くださった姿が目に残っています。率直に、時に赤裸々に、体験を踏まえてのお話は同窓生の胸に深く入り、しんと聞き入ったのが、ついこの間のようです。高校の卒業式にも度々ご臨席くださいました。巣立っていく若人にもシスターのお話は良き指針となったことでしょうか。「置かれた場所で咲きなさい」「いいねいに生きる」「お大切に」「善き神のいかに善きこと」などお言葉が忘れられません。いつも暖かく見守り、大きく包んでくださったシスターに心から感謝を贈ります。シスターの御心を、後に続く人達に伝え、改めて創立者マザー・ジュリーの精神を大切にしたいと思えます。

たちに、いつでも何でも欲しいものが手に入る生活を与えることも危惧されています。このように経済至上主義にひた走る社会において、私たち大人の責任が問われているのではないのでしょうか。神様から与えられている「かけがえない大切な命」を互いに尊重し、認め合い、人と人が共に支えあえるような社会を築いていかなければならないと、今、強く思います。一人ひとりがどんな生き方を目指すのかというところが切に問われていると感じられてなりません。

表紙のことば

法喜 直美(八期)

私が師事する日本画の先生と社河内先生が日展画家仲間という縁で「なでしこの会」へ出展するようになり早数年。

この度、同窓会報の表紙にもご推挙いただき、益々刺激を受ける日々です。

この作品は、私が第二の故郷とする神戸の街を散策していた時、北野にある古びた小屋のようなお店のステンドグラスに目を奪われ、スケッチしたもので出来上がったものです。最近、趣味として嵌まっているステンドグラスを日本画の題材とした連作の一枚となっております。

個人情報の取り扱いについて

登録されている個人情報は、同窓会からの案内・会報発送や名簿作成に利用しますが、本人の同意がある時及び会長が必要と認めた時以外は開示しません。

ただし、各期委員からの同期会開催を目的とした住所シール、名簿の発行要請は従来通り受け付けます。



昨年七月三十一日(日)、第六十一回同窓会総会が開催されました。

第一部は「マザージュリーの歌」

から始まり、岩崎会長から「今年には講堂建設に向けて整地がほぼ終わり、七月に起工式を行いました。同窓会からは綴帳を寄付することになっており、デザインなどを進めております。寄付金につきましては本日時点で三千二百万円集まっております。合計三千五百万円の寄付を目指しております。ぜひご協力をお願い致します。『心を清くし、愛の人であれ』という校訓が卒業生の皆様の中にも生き続けていると思います。他者をゆるす、他者に寄り添う心を持つという教えが、豊かで明るい生活になっていくことの基礎につながっているのではないのでしょうか。」との挨拶がありました。

今崎校長からは「講堂建設のためのご寄付を賜り感謝しております。工事が始まってからは順調でグラウンドはほぼ完成し、一月ごろから講堂と校舎の建設が始まり、来年秋頃完成予定です。変化の大きい時代の中で、人と人とのつながりや思いやりを大切にす

る心を同窓生の皆様からも引き継ぎながら教育をしていかなければならないと感じております。」との挨拶がありました。

平成二十七年事業報告、決算および監査報告を行い、二十八年度の予算が承認されました。続いて、永年勤続の先生方の表彰が行われ、代表して勤続三十年の濱寄敦夫先生よりご挨拶をいただきました。

執行部の紹介の後、第一部を閉会しました。

第二部は、同窓会コーラスの合唱でした。「秋桜」「桜色舞うころ」「涙そうそう」の三曲を美しくハーモニーで彩ってくださいました。

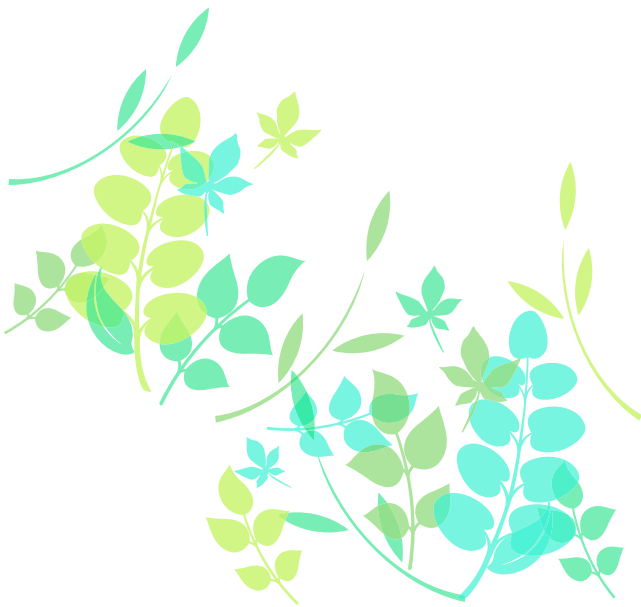
第三部は門野教頭先生の乾杯のご発声により、昼食、歓談が始まりました。和やかな歓談の間に、永年勤続の先生方、来賓の先生方からご挨拶をいただきました。今崎校長からは卒業生のご子息でリオオリンピック陸上銀メダリストの山縣亮太選手のお母様のこと話が話題になり、同期の二十期の方からも山縣選手のお母様とのエピソードをお話いただきました。

七月二日に日本テレビで全国放送された音楽番組で、清心にアイドルグループ「嵐」の櫻井翔さんが来校され、箏曲部の皆さんと一緒に演奏した様子を放映されたものが紹介されました。

また、タクラ先生はご自身が撮影、編集された新講堂建設で変わりゆく母校の風景をスライドショーで見せてくださいました。

このように第六十一回同窓会総会は盛会の中、最後に出席者全員で校歌を斉唱し、閉会となりました。

最後になりましたが、幹事の皆様、大変お世話になりました。



同窓会総会のご案内

平成二十九年同窓会総会を次のとおり開催します。
 日時…平成二十九年 七月三十日(日)
 午前十一時から午後二時
 場所…ANAクラウンプラザホテル広島 (旧全日空ホテル)
 広島市中区中町7-20
 TEL082(241)1111
 詳細は最後のページをご覧ください。

学園関係物故者 慰霊祭ミサのお知らせ

本年は十一月二日体育館にて学園関係物故者慰霊祭ミサが行われます。

同窓会本部にご連絡いただいている同窓生の物故者の慰霊も一緒にしていただいております。

クリスマスミサのお知らせ

毎年十二月二十四日十六時より、学校の講堂でクリスマスミサを行っています。ミサ後は食堂で茶話会も開かれます。

二〇一六年は、イエズス会長東修道院の塩谷神父様によるミサが行われました。

どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。ご一緒に主の御降誕をお祝いいたしましょう。

永年勤続表彰おめでとうございます



濱寄 敦夫先生
30年(体育)

割れても末に逢はむと思ふ

この度は、過分な表彰をいただき、ありがとうございます。一九八六年、本校にご縁をいただき、三十年を過ごすことが出来ました。ネットで一九八六年を調べてみますと、総理大臣は中曽根康弘氏、カープの山本浩二選手が引退した年です。「24時間戦えますか。」というフレイズのCMもこの年スタートのようです。レコード売り上げ一位は石井明美の「CHACHACHA」、洋画の一位は「バック・トゥ・ザ・フューチャー」でした。「バック・トゥ・ザ・フューチャーパート2」で、主人公が行った未来が二〇一五年、なんとすでに過ぎてしまいました。こんなに永きにわたり勤めることができたのは、諸先輩方および現在の同僚の皆さんのご指導、ご鞭撻のおかげです。そして何より、その時その時の生徒の一生懸命な姿に勇気もらい、励まされたおかげで続けることができたと思っております。最後になりましたが、同窓生の皆様のご健康とご多幸、そして同窓会の益々のご発展をお祈りしてお礼の挨拶いたします。



上田 嘉治先生
30年(国語)

この度は同窓会の皆様から永年勤続表彰を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。勤続三十年といえ、自分の人生の半分以上をこの清心で過ごしたことになります。日々同じ教員生活の繰り返しのようにも、実は一日として同じ日はなく、これまでに出会った数えきれないほどの生徒や教職員、保護者の方々との関わりが、今の自分を形成してくれていると実感するこの頃です。

私にとって教員生活の中で感じる喜びは、中学から高校という最も多感な時期の生徒が、心身ともにめざましく成長していく過程を間近に見られることです。逆に最も悲しかった出来事は、私が担任をしていたクラスの生徒さんが、病により逝去されたことです。十四歳という早すぎる死は、あまりに受けとめ難い現実でした。

清心はカトリック校、進学校というだけでなく、平和・人権学習、ボランティアなど様々な学習に力を入れており、私自身も多くの貴重なことを学んできました。今後も残された一日一日を大切に、生徒とともに学び、成長していきたいと願っています。



宍戸 裕美先生
20年(国語)

襟を正して

最近、ノート術に関する本を読みました。段取りを見抜く力を高めるためのノート術、眼力を養うためのノート術、正直こまごま意識したことがありませんでした。専任教員となつて二十年、自分自身も実践できていないし、生徒達に対してもまだまだ指導できていないことがあると、改めて気付かされるものでした。

人生は学びの連続です。知らないことは数限りなく、とても学び尽くせません。襟を正し、自らのアンテナを広げて「教学相長ず」の言葉通り自己研鑽を積んでいきたいと思えました。



マフッド先生
20年(英語)

Happy New Year! The New Year brings our Entrance Exam and Music Festival and Art Show. After 20 years in our school, the New Year rhythm is familiar to me. Most teachers would agree that we teachers learn from the students. I hope that my students have learned as much from me as I have learned from them. Thank you for your kindness! Have a wonderful 2017!



伊達 孝洋先生
20年(理科)



小野 良子先生
10年(英語)

この度は、同窓会より勤続十年の表彰をいただき、誠にありがとうございます。ここまで勤めることができましたのは在籍生や同窓会の皆様、保護者の皆様、教職員の皆様に支えていただいたおかげと感謝しております。

清心での十年間は、笑いあり涙あり。数々の失礼と力不足を申し訳なく思いつつ、生徒の皆さんの成長の場に立ち会わせていただき、とても刺激的で豊かな時間でした。

日々切磋琢磨する生徒達に負けないよう、努力を重ねて参りたいと思います。



早川 迪子先生
10年(国語)

この度は勤続十年の表彰をいただきましてありがとうございます。ご縁をいただき勤め始めた当時のことを思い出すと、本当に清心に育てて頂いたという実感と感謝の気持ちがおみ上げできます。支えて下さった先輩方や同窓生の皆様、在校生の方々に深く感謝しています。

十年の節目を迎え、共に過ごしている在校生たちと一緒に、今後どんなことにチャレンジしていくのかとわくわくしています。微力ながら母校のために精進してまいりますので、どうぞよろしく願いたします。



山下 佳子先生
10年(理科)

この度は永年勤続表彰をして頂きありがとうございます。研究職を選び教育に関わることを全く想定していませんでしたが、清心に戻り教えることを選択したのは、清心で過ごした日々がかけがえのない素晴らしいものだったからです。そのような日々を今の生徒たちにも過ごしてほしいとの思いで務めてきた十年でした。今年から進路指導の立場で生徒たちに関わっていますが、これからは生徒の自己実現のために全力を尽くしていきますのでよろしく願いたします。



與倉 章子先生
10年(事務)

この度は勤続十年を表彰していただきありがとうございます。母校の事務室に勤務することとなった時、嬉しく思う一方、不安や緊張もあったことを思い出します。周りの方々や家族の支えもあり、無事に勤められたことに感謝の気持ち一杯です。

現在新しい講堂が建設中ですが、昔からの変わらない清心、又新しく進化していく清心を身近に感じながら、仕事できることを幸せに思います。生徒さんや先生方の力となるよう、これから十年、また頑張っていこうと思っております。

お元気ですか

緒形隆之先生



私は二〇一四年度末で清心を定年退職し、現在は講師として年齢差が何と半世紀の中間を教えています。その中に母親が卒業生らしく、「〇〇期の〇〇です」と言ってくる生徒が何人かいます。その瞬間、懐かしい顔が甦ると同時に、失敗ばかりの××教師だった自分が思い出され恥ずかしくなります。

さて、昨年暮れに帰天された前理事長の学園葬に私も参列させていただきました。その追悼ミサでの神父様の説教は、私が清心で過ごしてきた歳月の意味を示唆するものでした。それを要約すると、「一人の人間の死によって残された個人の遺産や思い出は、時間が経つにつれて薄れ消え去ってゆくが、シスターの方によって伝えられてきたノートルダムの遺産である『神のいかによきかな』というマザー・ジュリーの霊性は、消え失せることなく今日まで生き続けている。ここに参列している

清心の学校関係者は、皆その霊性に直接的・間接的に触れることのできる時間と経験を共有したのだ」という内容でした。

三十三年前、カトリックのคา字も知らない私が清心に着任し、最初は儀式的で退屈なミサに戸惑いつつも、次第にシスターの方や(もちろん神父様も)信者の先生方との出会いを通して、カトリックの歴史や伝統に触れていきました。いま考えてみると、その時点からノートルダムの霊性に触れていたわけで、違和感のないものとして私の中に染みこんでいったのかも知れません。一方、これまでどのミサ聖祭においても聖体拝領にはまったく与(あずか)れず、そのことがずっと心の奥底で引っかかっていた。しかし、二年前にプロテスタントからカトリックへの改宗が許され、やっと解放されました。これからはカトリックの霊性を伝えるお手伝いが少しでもできたらと思っています。

最後に、ともにノートルダムの霊性を共有した皆さんに感謝しつつ、これを私の swain song とさせていただきます。ありがとうございました。

関東支部だより

三十六期 湯川史子(佐別當)

平成二十八年六月二十六日、渋谷「レガート」にて、関東支部同窓会が開催されました。山崎紘一先生、橋本範先生、岩崎恵子同窓会会長をお迎えし、雰囲気のあるレストランでフレンチに舌鼓となりました。

まずは、岩崎会長から挨拶をたまわり、マザー・ジュリーの歌の斉唱で幕を開けます。山崎先生とは強いカーブについて談笑させていただき、橋先生からは林間学校下見の逸話など清心思

関西支部だより

三十四期 永田知子(木村)

平成二十八年十月二十三日、神戸は旧居留地の異人館レストラン「トゥーストウースメゾン15」にて関西支部同窓会を行いました。国の指定重要文化財である洋館の応接間のようなお部屋に、今崎成志校長、デニス・タクラ先生、岩崎恵子会長をお招きし、併せて三十一名が集いました。今崎校長には、最近の清心生の様子や、今年度幹事を務めた三十四期が唯一の中心担任をされた学年であった事等をお話しいただきました。タクラ先生は、昔と全く変わらない楽

い出話をいただきました。近年、関東支部同窓会では、清心を取り上げたテレビ番組をスクリーン上映する機会がたびたびあったのですが、今年度は、今の清心生の部活動紹介を鑑賞しました。また、関東支部の特色である同窓生個人の活動「こんなことしてます」の報告もあり、終始笑顔が絶えない楽しい時間だったという思いで、校歌を斉唱、会は終了となりました。

大所帯となった関東支部の同窓会運営は年々困難になり、ご高齢からお体に心配のある先輩方の足が遠のくようなこともあるようですが、広島を離れ、清

しいトークで場を盛り上げて下さり、ご自身が作成されたスライドや、学校が紹介されたテレビ番組のDVDもお持ち下さっていて、歓談の際に上映、皆さん思わず立ち上がり、歓声を上げての鑑賞となりました。岩崎会長は、新講堂の綴帳のデザイン画を見せてくださり、そのあまりの美しさに驚嘆の声が上がりました。毎年恒例、参加者の近況報告を兼ねての一人一話では、ご来賓の先生方との思い出話のほか、折しもカーブが日本シリーズ真つ最中だった事もあり、カーブにまつわるエピソードがこちらから聞こえま

はいるけれど、私たちの心に深く根付いている「広島魂」を呼び起こしてくれた、そんな郷土愛に溢れた同窓会であったように思います。



〈関西支部連絡先〉 関西支部長 14期 居藤信枝(大越) TEL: 0798-67-0063 ※次回の関西支部会は 2017年11月19日(日)の予定です。



〈関東支部連絡先〉 関東支部長 25期 藤原泰江(城田) TEL: 03-6750-8277 関東支部ブログ http://ndkanto.blog60.fc2.com ※次回の関東支部会は 2017年6月25日(日)の予定です。

心と思う、同窓会は、また格別です。関東支部同窓会が今後も続いていくことを切に願ひ報告させていただきます。



二〇一四年五月よりお願いしていた新講堂設立へのご寄付を二〇一七年一月をもって締め切らせていただきました。当初目標にしておりました建設費用二千万円を大幅に上回り、三千四百万円のご寄付をいただきました。大変たくさんのご寄付をいただき、誠にありがとうございます。

目標金額を大きく上回ったことにより、新講堂の緞帳も寄付することができました。

新しい緞帳は、ブルーを基調として、なでしこの花をあしらった母校に相応しいデザインです。

新講堂が完成した際は、皆様のお力添えにより寄贈することができた緞帳も是非ご覧ください。

たくさんのご寄付
ありがとうございます



二〇一六年八月から始まった新講堂建設も、二〇一七年冬の完成に向けていよいよ大詰めを迎えております。

新講堂の建設により、ガラリと様相を変えつつある己斐の丘の現在をお伝えしたいと思っております。

今回新講堂ができることにより、今まで収容人数に限界があり外部会場にて開催していた、音楽会、美術展なども母校で開催できることとなります。

新講堂は千二百人程度の収容可能規模のホールとなっており、入学式、卒業式、ミサ、音楽会、演劇会などの会場として使用予定です。

座席側は床暖房も備えており、快適な環境で催しを行うことができます。

併せて建設される教室棟は、旧クビリールホール(旧短大校舎)で賄われていた機能を集約するほか、小聖堂、大規模な図



中学校舎より撮影した新グラウンドの様子

車道側から撮影したグラウンドの嵩上げの様子



書館などの施設が入った五階建ての建物です。教室棟は新講堂と棟続きだけでなく、現高校校舎とも渡り廊下で繋がっており、スムーズな移動が可能です。

渡り廊下の下は道路が整備され、車両通行も可能となり、校外活動のバスなども乗り入れることができるようになります。

教室棟は、一階は大講義室、進路指導室、小聖堂などが入ります。二階は部屋を区切ったり、全フロアを開放し多目的ホールとして美術展なども開催できるようになります。また、現在、第一・第二図書室に分かれている図書室は、三階フロア全てを使った大規模で充実したものに刷新されます。

文化学習として取り入れられている茶道・華道・座禅(中一)・着付け(中二)に使われる和室も五階に完備されます。

他にも勉強に集中し易いように、隣と間仕切りされた衝立がついた自習室も備えられ、より一層生徒たちの学習活動を支援する体制が整えられます。

新講堂建設に伴い、グラウンドも整備され、五メートルかさ上げされました。

これまで校外施設で行っていた体育祭も、今年度は五年ぶりに母校開催となります。

目まぐるしく変わる環境に、期待に胸を膨らませ完成の時を待ちたいと思います。



シスター渡邊和子
帰天される

二〇一六年十二月三十日、ノートルダム清心学園理事長シスター・セント・ジョン渡辺和子さんが逝去されました。

「学生たちの前で倒れるのが一番の願い」と語るほど、生涯現役に拘り、その身を教育に捧げ続けた人生でした。

九歳の時に二・二六事件で陸軍大将で教育総監だった父・渡辺錠太郎氏が青年将校に襲撃され命を落とすのを、わずかにメートルの距離から目の当たりにしました。父の死により、娘の将来を案じた母がカトリックの学校に入学させたことがカトリックとの出会いとなりました。

教育熱心であった母の支えもあり、聖心女子大学で学び、上智大学の大学院修士課程を修了後、三十歳を目前にノートルダム会に入会しました。

その後、三十六歳でノートルダム清心女子大学学長に就任し、非常に若くしての抜擢により周囲からの風当たりも強い彼女に一人の宣教師が一つの短い英語の詩を贈りました。その冒頭の一行が「置かれたところで



2016年7月13日(水) 講堂祝別会

咲きなさい」でした。この言葉でシスターは自分が変わる事ができたといいます。

誰も〇〇してくれないとばかり零すのではなく、自分から挨拶し、お礼をいう人になったのです。それは、マザー・ジュリエットの教えと同じです。

苦難の状況下でも「笑顔で自分の花を咲かせる」ことを、ノートルダム清心学園の卒業生である私たちもそれぞれの立場で実践していきたいものです。

シスター渡邊和子の歩み

- 昭和2.2.11 北海道旭川市で出生
- 昭和31.9.8 (宗) カトリック・ナミュール・ノートルダム修道会入会
- 昭和38.10.14 ノートルダム清心女子 大学学長 就任
- 昭和51.6.1 (宗) カトリック・ナミュール・ノートルダム修道会日本管区長
- 平成2.4.1 (学) ノートルダム清心学園理事長 就任法人歴
- 平成25.9.2 キリスト教本屋大賞受賞(著書「置かれた場所で咲きなさい」)
- 平成27.12 ペスタロッツ賞受賞
- 平成28.4.29 平成28年春の叙勲 旭日中綬章

著書 「置かれた場所で咲きなさい」他多数

2016年

学園祭バザー

5月28日(土)29日(日)

マイショップ ⑮・16



寄贈品販売

17・18・⑲・20・21



フルーツケーキ

22・⑳・24・25・26・27・30
36・38



うどん

⑳・41・43・46・47・48・52
57・60・40・42・44・45・50
53・54・55・56・58



2016年5月28日(土)29日(日)、
「Say! Symphony」をテーマ
に学園祭が行われ、同窓会バザーも盛大
に行うことができました。お忙しい中、
快くお手伝いくださった同窓生の皆様
と、会場へお出かけくださった多くの
方々に心より感謝申し上げます。
次のバザーは、
2017年5月27日(土)・28日(日)です。
皆様のお越しをお待ちしています。

クッキー

28・⑳・31・32・33・34・35

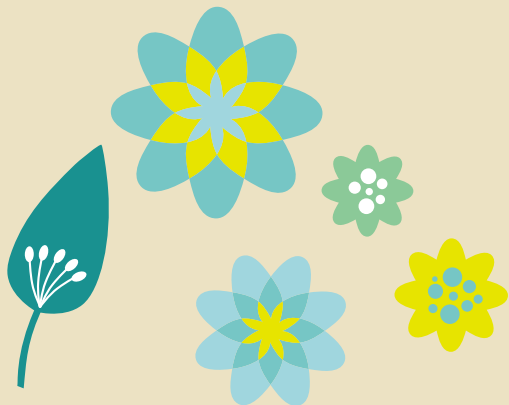


植木 ⑳・49・59



お茶 ⑤1・61

なでしこの会
なでしこ医会



マイショップ 出店のご案内

バザーにご自身のお店を出してみませんか?
日頃仕事や趣味で手作りされている作品にご
自分で値付けして販売し、売り上げの一部を同
窓会にご寄付いただいています。

お問い合わせは同窓会事務局まで。
TEL082(271)1724(10時~13時)



同窓生の活動

なでしこの会

毎年お正月明けに、広島市内で開催してきました「ND清心卒業生による美術展」なでしこの会展も、ついに今年は三十三回目でした。展覧会とともに、メンバーたちも年を重ねたこと

になりま。本当によく続きました。先生方や生徒たちの健康や活躍を一緒に感謝できることを幸せに感じておりま。これから、この会展をよろしくお願ひ致します。連絡先 渡辺紀久子(二十三期鎌田) TEL090(1338)5347



ユリア会

例年、春分の日前後にカトリック信者同窓生の集い「ユリア会」を行っております。どうぞお気軽にお越しください。連絡先 シスター中村彩子

ノートルダム修道院
TEL082(272)7903

清心なでしこ医会

清心なでしこ医会は二〇〇三年に発足した同窓医師の会です。

四月に総会を開き、会員の親睦を図っています。毎年学園祭での骨塩測定、後輩在校生の検診や医学的知識を深める講演などの活動をしています。現在、会員は一五五人です。

今年、ND清心中・高の神垣しおり先生と広島学院の阿部祐介先生に「清心と広島学院の近況・中学受験と大学進学状況を含めて」を講演いただきました。お子様連れの会員の参加もあり和やかな会になりました。

会員募集中です。同窓医師の皆様様の入会をお待ちしております。連絡先 なでしこ医会事務局 nadeshiko_ikai@kde.biglobe.ne.jp



料理教室

昨年十一月に岩崎会長を講師に迎え料理教室を開催し、おもてなしにぴったりの料理を教えてくださいました。

メニューは、里芋と蛸の煮物、和風ローストビーフ、ハス蒸し、柿とキノコのサラダの四品です。季節感たっぷり、意外性もある素敵な料理ばかりでした。作る時のひと手間や違う素

材を用いたメニュー例も教わり、さっそく活用して家族にも喜ばれています。

皆さんも同窓生と楽しくお話をしながら、新しいレパートリーを増やしてみませんか。お申込み、お問い合わせは同窓会事務局(担当・上相利恵)まで。 dousouka@hiro-seishin.ed.jp TEL082(271)1724(午時・三時)



コーラス

私たちは月二〜三回金曜日の午前中に練習しています。ある時は昔懐かしい曲や、今流行っている曲を楽しく歌い、またある時は若い作曲家が作ったリズムの難しい曲に挑戦しています。練習後のおしゃべり、食事会、レクも楽しいですよ。歌のお好きな方は一緒に歌いませんか。連絡先 石橋秀子(九期井上) TEL082(294)3663

英語を楽しむ会

和気あいあいとした文字通り英語を楽しむ会です。講師は第一期の三浦智世子さんです。

まず What's new? の英語での近況報告。次は reading や広島のガイド教材を使います。昨年、宮島の初ガイドに挑戦しました。今年は平和公園等のガイ

ドに挑戦する予定です。月二回の楽しい二時間。皆様のご参加をお待ちしております。

於 合人社ウエ
ンデイひと・まち
プラザ
第一・第三水曜日
十三時三十分〜十
五時三十分
連絡先坂本 TEL082(221)0703



山登り

昨年十一月に紅葉の三段峡を柴木〜黒淵〜三段の滝〜餅木と辿り深入山麓で夕食後、夜半から始まった神社の秋祭り奉納神楽を拝観で鑑賞させていただきました。再び深入山麓に戻り、深入山山頂一五三kmまで樹林帯のコースで自然を満喫しました。

二〇一七年は七月二十三日〜二十七日、鳩待峠〜至仏山〜尾瀬ヶ原〜燧ヶ岳〜尾瀬沼を歩きます。コースは様々で参加者の希望に合わせて前半のみでも可能です。尾瀬が最も混む時期ですから、参加を考えている方は五月十日までに

ご連絡ください。(私からの案内はこれで卒業とさせていただきます。)



連絡先 石川真智子先生
TEL082(622)7116
himantopus7116@ydb.ne.jp



後輩ニュース

- 【中高クラシックギター部】平成二十八年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール
- 【高校古典文学研究部】第三十八回全国高校小倉百人一首かるた選手権大会
- 【高校囲碁部】第三十九回文化科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会団体戦
- 【高校合唱部】第四十回全国高校総合文化祭二〇一六ひろしま総文
- 【高校管楽部】第四十回全国高校総合文化祭二〇一六ひろしま総文
- 【高校合唱部】第八十三回NHK全国学校音楽コンクール中国ブロックコンクール奨励賞
- 【中学合唱部】第五十五回中国合唱コンクール銅賞
- 【中学放送部】第三十三回NHK杯全国中学校放送コンテスト朗読部門

なお、ND清心ホームページでは、「今日の清心」というコーナーで、随時在校生・卒業生の活躍を更新しております。
http://www.hiro-seishin.ed.jp
をぶらぶらご覧ください。

同期会だより

六期同期会

六期 佐々木永子(陣場)

二〇一六年四月九日、楠の新芽の美しい元厚生年金会館で、六期撫子の会を開催しました。

G7外相会議前日のため、ホテルが取りにくい中、仙台など遠方からの参加を含め四十一名が集いました。

乾杯で名文が紹介され、それが何と卒業アルバムの編集後記でした。卒業後五十五年、月日が経つのは早いものだと思わざるをえません。

懐石料理に舌鼓を打ちながら皆の話に耳を傾けました。

平和公園でガイドをしている人。外国人に日本語を教えている等ボランティア精神を発揮している人。今迄大変だったけれど、今は誰にも気兼ねなく暮らしている人。太極拳の先生をしながら、英文のハムレットや源氏を読んでいる文武両道のお手本のような人。公文教室を主催しながら、社交ダンスもするパワフルな人。(彼女のベビー教室の赤ちゃんが厚化粧をジッと見た話に会場が湧きました。)

要といわれる教養(今日用がある)教育(今日行く所がある)を実践しています。
「母の亡くなった年まで三十年もある」「四代で同じ振袖を着た」等興味深いスピーチもありました。
一方、足腰に問題をかかえていたり、交通事故に遭遇したり、二度も大地震にあっても乗り越えた人達もおられました。欠席者に多いのですが、夫等家族の介護の真只中で奮闘している方々もおられました。
あつという間に二時間が過ぎ「川の流れるように」と校歌を歌いお開きになりました。
喜寿に向けて、生きるヒントをもらった感慨深い会でした。

十期同期会

十期 吉岡 千恵子

二〇一六年四月九日、第十期の同窓会が開かれました。

私はこれまで欠席してばかり、しかし今回は「古希といふ記念の年だから……」との幹事さんの熱心なお勧めに、

やつと重い腰をあげて参加いたしました。私にとっては卒業以来の方がほとんどなので、手掛かりに、と卒業写真を手に広島駅に到着。本当に久しぶりの広島、まあ、なんといい大都会！すっかりお上りさん気分であれこれ眺めながら、会場のオリエンタルホテルに着くと総勢四十七名参加とのこと。卒業生のほぼ三分の一近くが集結したわけです。すごいじゃん！おいしいフレンチを頂き、一段落したところで、自己紹介、近況報告が始まりました。お顔を見ればすぐに思い出せる方もあり、そうでなければ、旧姓を頼りに、大急ぎで卒業写真をめくって、あ、この方だ、と確認したところで、私の中ではみんな制服姿になっていきました。すると、バザーのカラー作り、クリスマス会の無言劇、運動会のひざ丈キュロット、音楽会の合唱など、すっかり記憶の外にあつたものが、鮮やかに甦ってきました。

十六期同期会

十六期 柴田真理子(三村)

近況報告では、介護、仕事、趣味など、それぞれに取り組む。若い同期生の話を、力づけられる思いで聴き入りました。最後に予餞会の華だった旧姓倉田さんの歌声に励まされて、記念すべき同期会も終了。次は傘寿かな？

受賞されたことをここでお伝えします。
還暦を四年過ぎ、自由になる時間が増えたと思われる年代の我々ですが、親の介護、孫の世話に忙しい。あるいは自分の体の不調など、意外に自由に動ける人が少ないのか、今回の集まりは二十四人でした。
今回お世話をして思った事は、「さすが清心のメンバーは仕事ができる。」でした。久しぶりに会って会の打ち合わせをしました。それぞれが得意分野で仕事を分担し、打ち合わせで集まったのは二回でした。

二十七期同期会

二十七期 新山美保子(井上)

当日集まったレディ達、おしゃれで若々しい。すっかり学生時代に戻っておしゃべりの花が咲く。高校時代の修学旅行の冊子や写真を見て懐かしい思いが広がりました。
一方、広島土砂災害、広島で開かれた外相会談を身近に見聞きした現代の話も興味深く聞かれました。

ご自身ががんを患ったが、現在元気で過ごしておられるという方も少なからずいらして、二年後の次回も元気に集まることをみんなで誓い、三時間のおしゃべりタイムを終わりました。



私達二十七期は卒業以来、二年に一度、欠かすことなく同期会を開いています。毎回夏休み中でしたが、五十三歳となり、酷暑を避けて九月三日、グランヴィアホテルにて行いました。
会場の窓からは、新しい高層ビルや駅と東照宮側を結ぶ自由通路が見え、様変わりした通称「エキキタ」を眺めながら、「JRの君」の話など、清心時代の通学話にも花が咲きました。
昼間仕事で参加できなかった人も参加できるようにと、今回は夜の会にし、美味しいフルコース料理とアルコールをいた



大きなながら、二十八名の近況報告を聞ききました。年齢的な体調の変化に苦しみながらも頑張っている仕事の話やまだ受験生をかかえ心配がつかない話、育児に一段落したら親の介護と、それぞれ日々の生活の中で、喜びを味わいながらも苦勞や悩みがあり、自分だけでは無い、皆頑張っているという勇気付けられました。

最後に副会長の高畑さんから新講堂の建設状況、寄付の話があり、綴帳のデザイン候補二つに意見を出し合ったりしました。

「忙しい毎日でも新しい趣味を見つけ、自分磨きをする同期に刺激を受けた」と話す人も多く、少し足の遠のいている同期にも、是非次回は参加して、同じ思いを味わって欲しいと思います。

私達三十四期は、三月二十日に、ANAクラウンプラザホテル広島で、約四年振りに同期会を行いました。二ヶ月前の急なお知らせにもかかわらず、遠くは東京など関東や四国、九州など全国各地から、三十六名の同期が集まりました。

参加者の中には、卒業以来四半世紀以上会っていない同期もあり、参加地域の遠い順に一人ずつ近況報告をしました。中には、「ドイツのサッカーワールドカップを見に行って、ホテルに泊まらなかったたので、約一ヶ月テント暮らしをした。」とか、「結婚して、小笠原諸島(東京から船で一日かかる)で暮らし始めたたら、同期の友人も、たまにたま住んでいた。」など、仰天エピソードも飛び出し、会場は大盛り上がりでした。

一次会の二時間では時間が足らず、二次会では約四分の三のメンバーが残り、おしゃべりを続けました。

参加できた人、できなかった人、三十四期全百九十八名、誰一人同じ境遇ではありませんが、「それぞれの環境の中で一杯生きています。それが明日の励みになる。」そんな思いを感じられる貴重な時間を過ごすことができました。

三十四期といえば、在校時はやんちゃな学年で多くの先生方

三十四期同期会

三十四期 吉崎由紀子(谷川)



にご迷惑をおかけしましたが、清心で培われた力のお陰で、今では、自立したがんばる女性になっていきます。

三十九期同期会

三十九期 福長靖子(竹内)

昨年の十二月二十八日、広島の袋町にあるAGRIというお店で、第二回同窓会を行いました。

在学中からおとなしい学年と言われていた三十九期が、一念発起して、四十歳になった一昨年、二倍成人式より始めよう！と考え、開催した同窓会です。久々に連絡を取ったにも関わらず、第一回は、三十人以上の参加がありました。今回で、二回目となります。

今年は、年末早めに開催したため、仕事で参加できない人や、お子さんの受験で帰省でき

ない人もいましたが、東京から足を運んでくれた人、福岡から仕事の合間に日帰りしてくれた人もいました。子育て世代なので、子連れで参加してくれた人もいました。参加人数は少ない目ではありましたが、話に花が咲き、あつという間に時間が過ぎました。

在学中にあまり話していなかった友達とも、年を重ねると、楽しく、色々な話ができ、同窓会はいいものだと再確認できました。

これからも、三十九期らしく、ほのほのと、毎年続けていきたいらいいなと思います。

まだまだ、同期全員とお会いできていないので、同窓会を続けるうちに、皆さんとお会いでき





きることを、楽しみにしています。

同期会リスト

開催日	期	場 所
2015/12/30	49	ANAクラウンプラザホテル広島
2015/12/27	39	A G R I
2016/3/21	34	ANAクラウンプラザホテル広島
2016/4/9	10	オリエンタルホテル広島
2016/4/9	6	文化交流会館
2016/4/30	20	ホテルグランヴィア広島
2016/5/20	3	メルパルク広島
2016/6/3	4	リーガロイヤルホテル広島
2015/8/8	25	ソーナイタリア
2016/6/3	15	ソ ー ナ イ タ リ ア
2016/7/3	12	ホテルJALシティひろしま
2016/8/12	18	梅 も
2016/8/20	16	ホテルメルパルク広島アストラル
2016/9/3	27	ホテルグランヴィア広島 L&R
2016/10/2	37	ホテルグランヴィア広島 L&R
2016/10/19	7	広島インテリジェントホテル
2016/11/1	14	三 瀬 荘

※同期会には1万円の補助費が出ます。条件がありますので、詳しくは同窓会事務局までご連絡ください。
同窓会事務局 TEL.082-271-1724(月～金曜日 10時から13時まで)

なでしこ通信

45期 田中由花(飯尾)

私は、美術の実技試験を受けました。そして卒業後は大阪、東京で広告デザインの仕事に就きました。

二十代は頻繁に深夜残業や休日出勤をする働き方でしたが、三十代に差し掛かり限界を感じるようになりました。結婚してから二児を出産するまでは、派遣社員として補助的な業務で細々とキャリアを繋いできました。

昨年、夫の都合によって転居する事になりました。それを転機に、新たにwebデザインの仕事に就くことができました。

新しい技術を身につけるため、日々ネットや本で勉強し、仕事で実践しています。

いまは一歳と四歳のこどもに振り回されながらも充実した毎日を送っています。

なんとかここまでこられたのは、育児休業制度の存在や保育園のサポート、そして家族と職場の方々のご理解があつてのことです。

周囲への感謝を忘れず、社会へ還元できるようにこれからも頑張ろうと思います。

編集後記

三年の任期中、講堂建設に伴い、変わりゆく母校の姿を見ながら己斐の丘を登りました。

建物のみならず、教育内容も時代とともに変化しておりますが、先生方や後輩たちから感じる清心の空気は昔と同じで、とても嬉しく思いました。会報を懐かしいと感じられた方、是非バザーなどで訪ねてください。

最後になりましたが、取材や原稿依頼に快く応じていただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

(四十一期 能宗)

同窓会会報
第51号編集委員

<p>四十一期 編集長 能宗 舞(中村) 小嶋由佳里(斎) 吉子 朋子(南崎)</p>	<p>四十二期 上野 三奈(内藤) 河村 歩(粟屋) 児玉 芙美(中井) 水入真美子(山岡)</p>	<p>四十三期 甲斐 亜弥(林) 田中あゆこ(島筒) 三浦 奈々(飯尾)</p>
---	--	--

同窓生の皆様へ

同窓会総会のご案内

ノートルダム清心中・高等学校同窓会
会長 岩崎 恵子

新緑の候、同窓生の皆様には、各方面にて、益々ご活躍のことと存じます。

さて、平成29年度同窓会総会を下記のとおり開催いたします。懐かしい先生方、同級生と久しぶりに顔を合わせて、楽しいひとときをお過ごし下さい。

お友達同士、お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成29年7月30日(日) AM11:00~PM2:00
場所：ANA クラウンプラザホテル広島
(旧全日空ホテル)
広島市中区中町 7-20 TEL082-241-1111
会費：5000円(当日会場受付にてお支払ください)
学生は半額(2500円)です。

総会次第

- ◎第一部 総 会
- ◎第二部 コンサート
 - ☆上田嘉治先生ピアノ演奏
 - ☆同窓会コーラス
- ◎第三部 恩師を囲んでの歓談(昼食)

準備の都合上、出欠を同封のハガキにて6月30日(金)必着でお知らせください。なお、7月15日(土)以降の出席の取消については会費を徴収させていただきますのでご了承ください。

今年度総会の幹事は40期、50期です。
連絡先 同窓会 082-271-1724(月~金 10時~13時)
40期 末川 090-7127-6967 大平 090-2868-2548

お知らせ

◇同窓会へのご質問、連絡は
E-mail : dousokai@hiro-seishin.ed.jp
TEL : 082-271-1724(月~金曜日 10時~13時)

◇こちらをご覧ください
ND 清心中・高等学校ホームページ
<http://www.hiro-seishin.ed.jp>